

蔵増北青壮年会だより

発行 第55号

平成23年7月20日

そらねん



発行人会長 森山美典

編集委員長 土屋博明

編集 機関紙編集委員会



岩手県大槌町被災状況 H23. 5. 21 写真提供：天童市教育委員会 並木勝範さん

2011. 3. 11

未曾有の大地震

大津波・福島原発

東日本を襲う

午後2時46分、千年に一度といわれる巨大地震（マグニチュード9）が東日本を襲った。大津波が人の命を、まづ全体をひと呑みにした。

近代科学の高度な知識と技術を注ぎ込んだ原発も大津波にたやすくぶち壊された。福島から遠く離れた所でさえ放射能の風評にさらされ、国難ともいえる事態となった。

天童市の西方面を走る山形盆地断層帯では30年以内にマグニチュード7.8の地震が最大8%の確立で発生し、震度7〜6強の地震が起きると予知されている。これは決して低い確率ではなく、全国でも高い部類に入るといわれている。

想定外を想定内とすべくこの震災から学びべきことは山ほどある。

山形県側に大きな地震被害はありませんでした。太平洋側に住む家族や友人、知人の安否情報や、こちらでも一日以上の停電や燃料不足、生活物資の不足など、大変混乱しました。本紙編集委員会では、この東日本大震災を、私たちの身近なところまで起こった歴史的な事実ととらえ、様々な体験を記録しておこつと話し合い、編集委員全員が寄稿しました。

やつぱり災害の準備をしておかなければ

大木富雄（北二区）

僕は、村山の袖崎の歩道の雪掃きをしていました。その日は雪が多くとても寒い一日でした。午後からは雪が多く降ってきて、午後2時40分過

地震襲う

46分 東日本大震災 その時 ◆◆

ぎ頃から電柱が大きく揺れておさまりませんでした。袖崎の近所の人は、テレビと色々な物が倒れたと言っていました。午後3時頃地震がやんだと思つたらまた揺れて、車の中に避難して、車の中はかなり揺れていました。仕事が終わって家に帰るとき、村山の警察署の信号機はついていましたが、ほかのところの国道の信号機はついていないので、慎重に運転しなければなりません。自分が交差点で止まっても、相手の車は無茶に入ってきて止まりもしないで、ひやっとした時もありました。家については、夕食を食べる時はロウソクをつけながら食べました。ラジオをつけながら、ホッカイロとか、湯たんぽで寝ていました。次の日も電気がつかず、ガソリンスタンドは、かなりの行列をつないでいました。農

協のスタンドは、朝早い人で午前3時頃から並んでいる人がいました。買い物客は、懐中電灯とかホッカイロを買っている人がいました。スーパーの棚には品切れの物が多かったです。

今まで大きな地震の体験のない自分が色々な場面で勉強ができました。やつぱり、災害の準備をしておかなければと思いました。テレビを見て仙台の被害がすごかったです。

大震災の

脅威を肌にして

土屋博明（北三区）

その日は、仕事で南陽市から帰る途中、上山の国道13号を車で走行中でした。

今までに経験したことのない様な激しい車の横揺れに、一瞬エンジンが壊れ操縦不能かと思つたくらいでした。すぐに車を左に寄せ停止して車から降りて、初めてこれは大きな地震だと分かり、道路脇のガードレールにしがみつきました。体が固まったまま何も出来ない状態でした。道路に並行して設置された防雪柵が波打つようにカンカンと音を出

して揺れていました。その場所を車で通るたびに思い出されます。

この惨状を胸に刻み
いまが力を合わせるとき

秋保 栄（北三区）

強烈な地震体験・それは小学5年生の時の新潟地震の記憶である。（昭和39年6月16日13時1分M7.5）昼休みの時間帯だったろうか、全員木造校舎の階段を急いで降りた。グラウンドに出たら貯水池（今の市民プールの西南）の水がだぶだぶと溢れていた。

平成23年3月11日（金）14時46分、昔の体感が重なった。でも、これはあの時の地震以上では。2日前の3月9日に地震があり、避難しようという申し合わせがあったのですぐ屋外に逃げた。強烈な揺れが長く続く。電柱がしなり、地鳴りも聞こえた。駐車している無人の車がぐらぐらと勝手に動き出しそうだった。今どんなことが起きて

いるのか。ただ、ただ、揺れの治まりを待つしかなかった。（後に聞いたが、この天童の地面も2mぐらいい東に移動し

ているらしい。）

もう大丈夫だろうと落ち着きを取り戻し、自分の仕事、各学校の児童・生徒たちの安全はどうなのか、安否を確認しようとしても電話がつかない。職員全員手分けして学校に直行した。向かう道路で信号は点灯せず、雪も無い視界も危うい中でようやく現場の声を聞くことができた。怪我人もなく、校舎にも大きな被害は無く安堵した。

津波被害のあった多賀城には次女がいた。ビルの階上には避難したという連絡があったが、その後は音信不通。一晩中ラジオで避難情報を聞きながら、小さな懐中電灯の明かりで一夜を過ごした。

12日夕べ、電気が復旧してテレビ映像が目に入ってくるにつれ、ラジオで聞いていた南三陸町、大槌町など「壊滅状態」という言葉の意味を信じざるを得なくなってきた。原爆投下後のヒロシマのような光景だった。

13日（日）になって何とか娘の安否も確認できた。

大地震、大津波、それに追い打ちをかけて福島原発の水素爆発。放射能拡散……。被災

じょうかん
貞観大震災（869年）以来

未曾有の大

◇◇ 2011年3月11日 14時

学校3年生の時に体験した新潟
湯地震。当時の大人たちは地
震の影響でどんな思いをし、
どのような不便体験をしたの
だろうか。

今回誰もが体験した不便さ
は停電による暗さと寒さ、食
事、そして情報や通信の不通
ガソリン不足による車移動の
困難、電話不通による通信対
策など。これまで何不自由な
く便利な生活だったゆえに、
改めて考えさせられた出来事
であった。

東日本大震災

土屋 正賢（北二区）

3月11日午後、自分は、さ
くらんぼ畑で剪定作業をして
いたところ、携帯の地震警報
が鳴りました。それから数秒
後あの大地震が起きました。
幸い地震警報のおかげで脚立
からは降りていましたが、地
面がグラグラと揺れて、とて
もまっすぐ歩くことが出来ま
せんでした。

そして遠くの方ではサイレ
ンの音も聞こえ、これはただ
事ではないと思いました。
帰り道では信号機も消えて
いて、家に帰ると当然停電に

なっていて、ロウソクでの生
活が待っていました。

不便な生活

改めて考えさせられて

土屋 忠治（北三区）

震災から4ヶ月が過ぎよう
としています。まだまだ多く
の方々が行方不明のままです。
又、避難所での暮らしの方も
多く、心が痛みます。

3月11日の地震の時、私は
学校から帰ってきた娘と家に
いました。あまりに強く、長
い地震なので、外に出て治ま
るのを待っていました。その
夜は電気のない暗さの中で過
ごしました。

翌日、日用品を買いに店へ
出かけましたが、すごい行列
で1時間半待つてやっと購入
できるような状態で、不便で
大変でした。

避難所の方はもっと大変で
す。早く普通の生活にもどれ
るように願っています。

東日本大震災の所感

佐藤 春彦（北一区）

私は、発生時刻に自宅の庭
にいた。非常に大きく揺れた

から、山形盆地の活断層帯が
動いたかと一瞬思ったほどで
あった。

停電のためラジオと車のワ
ンセグで情報を得た。ワンセ
グは仙台平野を呑み込む津波
を映し出していった。かなりの
被害が出ていることは容易に
想像できた。

後日、仕事の関係で被災に
あった宮城県南三陸町、仙台
港、石巻市内を回ってきた。

震災被災地の惨状や原発事
故は、私たちの社会と生活の
あり方と個人の生き方に問い
直しを迫っているといっても
過言ではない。

東日本大震災に思う

山崎 進（北二区）

地震情報入手の手段も時代
と共に変化して、携帯電話の
テレビで現在起きている現状



ラジオで放送された「壊滅状態」が現実のものに。6月11日現在の警察報道では
死者15,405人、行方不明者8,095人。（撮影3月31日宮城県南三陸町にて佐藤春彦）



否応なく長期化している避難所生活。一日でも早く元の生活に・・・。
(撮影5月19日 岩手県山田町にて 並木勝範さん)

を飛行機やヘリで映しリアルタイムに報道が出来るように成った。10mを超える津波が家々を呑み込んで行く有様を見て、非常に大きな災害になると思いました。

山形県は、大きな被害もあり無く安心しましたが、停電や食料・ガソリンの不足等で日常生活も大変困りました。私も車のガソリンがほとんど無くなり、3週間ほど歩いたり自転車通勤しました。長女の車のガソリンも無く

なり、山形市内のスタンドへ夜7時頃から二人で翌日の給油の順番取りの為に車中泊しました。寒さを防ぐため毛布や湯たんぽを準備して行きましたが、夜中の寒さや寝心地の悪さで、何度も起きてしまい、夜の明けるのがとても待ち遠しかった。午前8時過ぎには3千円分給油する事が出来て、ひと安心しました。車社会なのでガソリンの大切さや必要性を痛感しました。

これで俺も終わりが！

中山町での震度5強

土屋 久雄(北三区)

こんな経験をしたのは人生で初めての経験だ。

中山町での打合わせ中に携帯がピーピーと鳴る(地震速報)。打ち合わせ中だぞーと思ったその瞬間、今までに経験のない震度は5強だった。(震度5〜5.4)。なかなか揺れが止まない。永遠に続くような揺れを感じながら、だんだん気持ち悪くなるのがわかる。な何で？。これが地震酔いか！？

揺れが止まったらトイレに直行だった。

佐藤 俊彦(北三区)

被災地復興を一日でも早く岩手、宮城、福島沿岸部では地震による津波で多くの被害が出た。阪神淡路大震災を上回る死者、不明者を出した。又、福島原発事故では今でも放射能の影響が治まらない。被災地復旧や復興が一日も早く進むよう望みます。

震災のニュースや当時の事を思い出すと、本当に山形は災害が少ない県だと感じた。

地震から2日間ぐらいい我が家でも電気がなく、暖をとるのにペットボトルにお湯を入れて暖をとったりした。

ガソリンスタンドの長い行列や食品店の品不足なども起きたりした。もう二度と起きないでほしい。

自然災害の脅威

(3・11東日本大震災)

山崎 昭夫(北二区)

3月11日午後2時46分、会社で仕事をしていた時突然携帯電話が、ピューン、ピューンと鳴り出し、そして強い揺れに見舞われ社員全員屋外に避難、そして停電だ。仕事を続けられる状況でないの各自身の回りの確認整理をし、全員帰宅した。

周囲も停電で、信号麻痺の各交差点で大分危険を感じながら自宅に着いた。家族全員無事、自宅及び周囲も大した被害もなく、また近所の皆さんも無事でひと安心だった。

停電は翌日午後7時頃まで続いた。電気復旧と共にテレビから見えてきた映像は津波による壊滅的被害と、尊い多数の犠牲者が出た太平洋沿岸福島原発の状況の映像であった。あまりの凄惨さにこれは現実かと言いたくなる程の自然災害の脅威であった。またそれから逃れられなかった

人間の無力さを思い知らされた。しかし、その後大勢の人間が必死に無欲の力を結集し、復興に向け、まい進している。これらの出来事を教訓として最後に生かせればと思う。最後に犠牲になられた方々、災害に遭われた方々にお見舞いを申し上げます。

東日本大地震・未体験

山崎 稔(北三区)

私、山崎稔は、千年に一度の大震災を、社員研修で異国の地で知ることになった。

マカオのNHK BSテレビでは、繰り返し大震災の映像が流れていた。今まで見たことのない日本の姿に驚き、また、家族とどうしても連絡がとれず、不安が募るばかりだった。

いま、どうしようとしても、どうしようもない状況なので、組まれていた社員研修(ナイショ)をこなしていた。

妻は、帰国した私に、「遠くの亭主よりも近くの他人を強く感じた」と言った。

言わば、「亭主より近所付き合いを大事にしよう!!」

と思っただろう。

今に至っては立つ瀬のない
東日本大地震・未体験。

by みのる

無欲の肉まん

(感謝の気持ち)

後藤賢次(北一区)

この度の大地震の後に停電があり、また、我が家から電柱からの引き込み線が切れたとの連絡があつてこれは長い夜になると覚悟しました。

酒を確保しに市内を探しましたが、開いている店がないため、うろうろしましたが、交り江にあるコンビニ○○○○○○マートが、自動車のライトで照らして、営業していたため、やっと清酒一本買い取ることができました。

いま思い起こしても印象に残っていることは、この店は無料で肉まんなどをお客さんに提供していて、宮城県から出張していた人も感謝して受け取っていました。

その気持ちは、無欲で人助けをしたいという良心の表れだと思いました。ありがたいことでした。



(地震ハザードマップ平成20年12月天童市作成、全戸配布)

天童市の近くには、村山盆地の西側を南北に走る「山形盆地断層帯」が確認されており、北部と呼ばれる「大石田町～寒河江市」までの区間と、南部と呼ばれる「寒河江市～上山市」までの二つの区間の断層が走る。

この二つの断層が同時に活動した場合、マグニチュード7.8クラスの大地震が発生する確率は30年以内に最大8%と想定されており、蔵増周辺は最大震度7～6強の揺れが想定されている。(出典元:平成19年8月山形県総合防災課資料)

地震研究の専門家は「発生確率8%という数値は決して低い確率ではない。むしろ全国的にも高い数値で(事例として同じ発生確率で阪神大震災が起きている)決して油断できない」と注意を足している。(秋保 栄)

地域貢献活動に存在感

平成22年度北青壮年会総会

2月27日

開会に先立ち、来賓挨拶の中で渡邊渡貴雄北区連合会長は、「昨年の30周年記念式典で結成時の熱い思いを引継いで今に至っており、その記念誌「そうねん合冊版」を見ると、歴史を感じると共に歴代会長、役員の存在感を今更ながら重く感じた。青壮年会は連合会の組織の中で背骨にあたる大黒柱。住みよい地域づ

くりと共に力を合わせていきましよう」と述べられました。総会では、舞鶴山一斉清掃、堀端公園草刈り、地区内ゴミゼロ運動や、盆踊り大会など継続した地域貢献活動の報告や、機関紙合冊版を10月に発行し山形新聞にも掲載され、大きな反響があったことなどが報告されました。

また、新たに「部長会」を開催しクラブ活動の部員数減少に対しての方策を話し合いました。結果として、麻雀部や走遊会には途中から新入部員が加入し、更にパソコン同好会も発足し、総会にて23年度から部に昇格することが決定しました。



2年目になる森山執行部。どうぞ今年もご協力を。

新年度予算案では40周年記

念事業に阿けた積立金を特別会計に計上することが承認されました。(森山美典)

新役員紹介

- 会長 森山 美典 (北二)
- 副会長 土屋 仁 (北二)
- 理事 佐藤 俊彦 (北二)
- 理事 土屋 博明 (北二)
- 理事 佐藤 春彦 (北二)
- 理事 菊地 義盛 (北二)
- 理事 今田 仁志 (北二)
- 理事 土屋 光春 (北二)
- 理事 佐藤 利光 (北二)
- 理事 佐藤 伸一 (北二)
- 理事 山崎 稔 (北二)
- 監事 鈴木 光芳 (北二)
- 監事 東海林 由人 (北二)
- ソフト部長 土屋忠治 (北二)
- 将棋部長 土屋正賢 (北二)
- 麻雀部長 熊澤常也 (北二)
- 書道部長 佐藤俊彦 (北二)
- 写真部長 大木富雄 (北二)
- 野山歩行会長 佐藤春彦 (北二)
- 走遊会長 山崎 進 (北二)
- パソコン部長 山崎昭夫 (北二)
- 編集委員長 土屋博明 (北二)
- 編集常任委員 秋保 栄 (北二)
- 山崎昭夫 (北二)
- 土屋久雄 (北二)

好意のレンタルが裏目に

地区青壮年会ディスコン

第18回目を迎えた本大会は、今年も「ディスコン」を競技種目として1月23日(日)に開催された。北青壮年会からは19名の会員が参加。1チーム

市連合ポウリング大会

2月20日、空港ターミナルポウリング、参加者28名、我がチームは入賞に漏れたが、奥山正男さんの見事な200アップのスコアをご覧ください。(土屋博明)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	TOTAL
9	20	47	67	84	93	99	129	159	184	203
										203

パークゴルフ愛好会発足する

還暦を過ぎたとは言え、体的にはまだまだズムズムする。適度な運動をと思っている時パークゴルフの案内があった。競技内容もわからず早速参加させて頂いた。

昨年11月3日、当日はあいにくの小雨、中止の音が有ったが無理矢理(自分の勝手の願いで)決行した。会場に着いたら間もなく晴天に。さくすが晴れ男。

早速競技開始。先輩方々に教わりながら何とか終わる事が出来た。反省会の席で酒を酌み交わしながら思った。仲間と共に楽しくコミュニケーションをとりながら出来るパークゴルフは最高。

ところで成績はというと、案の定、最下位。ヨウーシ、次回がんばるぞと思ったところ。

やるからには一生懸命日々精進、先輩の方々、今後とも宜しくご指導お願い致します。反省会が楽しみです。それが本音でもあるが、何と言っても健康が一番です。(音藤寛)

道ひとすじ ②

仏師職人の思い 作品に全霊を注ぐ

森谷定雄さん(北一区)を訪ねる



森谷さんは、お寺の御本尊様を安置する宮殿(くうでん)、その前に置く前机、仏像や台座の制作など範囲は広く、宮殿師とも木製仏像彫刻の仏師とも言えるいろんな技術を持つ職人さんです。

仕事は新規注文や痛んだ物の修復などですが、大きな物は自宅の作業場で部分的な物を完成させ、現場で組み立てるそうです。

仏具制作の手順は、木地作りから、彫刻、塗りの方は下地から上塗りまで、そして金箔仕上げなど高い技術と時間がかかるものです。自宅の作業場には

業場には
裁断・切
抜き・穴
開けの部
屋、彫刻
や細かい
細工をす
る部屋、
漆塗りを
する部屋
金箔で仕
上げる部
屋などが
あります。
その作成
途中のも

のを拝見して細工の精密さに驚きと感動を覚えました。

農家に生まれた森谷さんは、終戦後何もなかった時期に、とにかく何かをして生きていかなければと思いいこの道に入り、約10年位修行して故郷に戻ってきました。仏壇の障子の修理が初めての仕事でしたが、「これは一味違う、やり方なんだろうか」そんな話になり仕事が増えたそうです。お客様は主に蔵増地区周辺の方が多く、一般家庭の仏壇で手がけたものもたくさんあります。

最近納めたものでは、(西)常得寺本堂御内陣の修復、部分新調工事などがある。

仏師の道具を持ってから約60年この仕事をして「毎日やらせてもらっているという感謝の気持ちで一杯です。これからも技を通して作品づくりをさせていたきたい。」とおっしゃっております。

現在、長男と一緒に職に励んでおり、忙しい時は奥様にも手伝ってもらおうそうです。控えめな中にも、お金でくくものが買える今の世の中、職人としての情熱を強く感じました。(聞き手 土屋博明)

北区新春麻雀大会

1月16日に行われ優勝は森山会長、2位はメンバー不足で急遽参加していた滝口光喜さん(窪野貝)、3位は佐藤武志さん、4位は渡辺勲さんでした。博明さん・大木さんお手伝いありがとうございました。(能澤常也)

小学生棋士 みくびることなし

市連合将棋大会

市連合青壮年会第36回将棋大会が2月20日、天童北部公民館を会場に開催された。エントリーマンバーは、自称名人後藤賢次さん、エース森山美典さん、新進気鋭土屋正賢さん、おまけに私(土屋)総勢9チームの中、初戦、老練北久野本Aチームに1勝2敗で惜敗。敢闘戦でも1勝1敗。結局、敢闘3位。

昨年から参加の小学生の成長ぶりには目を見張るものがあった。今回も多くの方が苦汁を嘗めていた。棋力は年齢に関係なし。幼いとみくびることなく、余り対戦したくない相手である。(土屋政美)

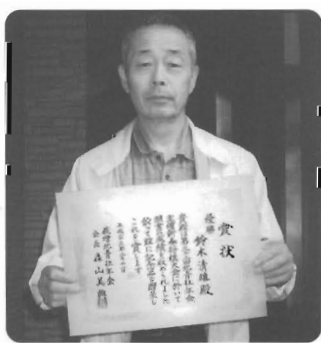
北区新春将棋大会

◆◆鈴木清雄さん優勝◆◆

2月11日恒例の新春将棋大会が行われました。大会は将棋部員のほかに地区民の参加者を受けて盛大に行われました。皆腕に覚えのある人たちで、中々

レベルの高い試合でした。前の大会で優勝した人は、角落ちで戦うというルールで行われました。

で、私も参加させていただきました。試合となると緊張してしまい、局面が中々見え、相手玉を詰ますことだけに集中していると、簡単に自分の玉が詰まらせてしまいます。コーヒーを飲みながら、口撃を交えながら、楽しい一日でした。(土屋正賢)



地力で圧倒 優勝の鈴木清雄さん

月山好天・翁山雨で断念 今年の歩き始め《野山を歩こう会・春紀行》

姥ヶ岳1670m

5月3日(火)、3名参加。
この時期、姥ヶ岳は月山春スキー場のゲレンデとなる。例年宮城県などの県外客が多いので、東日本大震災の影響で人出は少ないと思っていたが、予想より賑わっていた。好天のもと10時頃、姥沢駐車場を出発し、昼前に雪の上で昼食をとり、12時30分過ぎ山頂に到着。山頂でミルクコーヒーを飲み一服。下りはリフト



初参加 気分爽快 山崎秀樹さん

の下や林の中を歩き14時30分に駐車場に下山した。

近くて遠い翁山

5月29日(日)天候雨、6時から堀端公園草刈ボランティア作業時にはすでに雨。当日の翁山行きは中止とする。前回は積雪のため途中下山、近くて遠い翁山です。午後6時から懇親会を5名で行う。来年に期待しましょう。

また、今年の秋、福島県阿武隈山地のトレッキングを計画していましたが、原発事故の現状は厳しいようです。

よって、9月末に福島・群馬県境にある尾瀬沼のトレッキングを1泊2日で計画したいと考えています。詳しい案内は後日配布しますが、多数の参加を希望したいです。

宿泊は、福島県松枝岐村の温泉旅館、予算は一人1万8千円程度、9月24日(土)〜25日(日)を考えています。ちなみに尾瀬ヶ原ではありません。尾瀬沼です。(佐藤春彦)



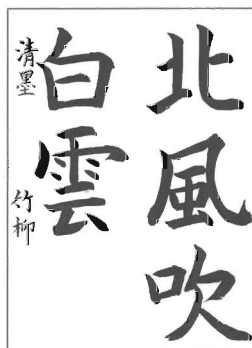
分かりやすい講師の土屋久雄さん

学んで役立てよう パソコン教室

昨年発足し、今年の総会で正式な部として承認され、勢いを持って活動を始めました。部員数は7名、例会は毎月第4土曜日、会場は土屋久雄さんがオーナーのコンピューターソフト会社(株)情報技術サービスさんの一室をお借りし、土屋さんからは講師としても御指導頂いております。部員の皆さん大変熱心で時間が経つのをいつい忘れ集中しています。それぞれの

わたしの作品

《熊澤常也さん揮毫》



昨年の8月より夕方からの仕事に就いたので、書道部の月例会には参加できない状況で、筆を持つ機会もほとんどなく休部状態であります。

20年ほど前、実用文字を書くようにと入部したのですが、努力が足りず、未だに上手に書けなく苦労しております。もう一度入部した頃の上手くなりたいたいと素直に思う原点に戻り、書を楽しみ、仲間と励まし合いながら、続けて行きたいと思っております。今回の作品は、毎月の競書規定を書きました。

(熊澤常也)

語意「北風が吹きはじめて寒空に白雲を吹きやる。」唐の蘇頌詩「秋の初句」。

技量の程度はまちまちですが、パソコンの色んな機能の中の一つでも学んで役立てれば良いなと思っております。(山崎昭夫)

爽やかな汗と達成感を味わう 走遊会

今年の初エントリーは4月29日福島県郡山シテイマラソン大会を予定していましたが、東日本大震災のため中止になり、出足を控かれ残念な思いをしました。次の目標に切り替え、6月12日の東根さくらんぼマラソン大会には5名が参加しました。天候は晴

れ、気温は高めでしたが、全員が完走、爽やかな汗と達成感を味わうことができました。今回5Km走から10Km走に挑戦してレベルアップを図った方もいて、頼もしく思いました。大震災の後ですが、なるべく今までの生活を取り戻していきたいと思います。(山崎進)

近所のニュース

《おかげどう 岩月啓次郎先生》

24年間の北公民館での書道指導に幕



北公民館での最後の例会 1123. 3. 22

岩月先生には、昭和62年の書道部発足以来これまで24年間、毎月2回火曜日の夜に北公民館に出張して御指導いただきました。これまで数多くの青壮年会員と、かつては地域の女性達も加わり真剣に書道に励んできました。先生の書は美しく、また温厚な性格で、やさしく手ほどきをし、皆から尊敬されてきました。高嶺嶺になり、誠に残念ではありますが、夜に公民館までお越しいただくのは負担が重く、公民館での教室は本年3月いっぱいにて終了となりました。

今年度からは、自習で書いた作品を先生のところに持参して添削を受け、競争に出品していくことになりました。先生宅で教室は続けておられますので、益々のご健康とご活躍をお祈りいたします。(書道部 秋保栄)

この人

北2区

土屋 光春 さん



光春さんは、奥さん、母親、そして3人の娘さん、女性家族を支える世帯主です。

お仕事は県立農業大学で、県内で生産される主要な切り花や花の苗、鉢物など、農場での生産実習を中心に栽培方法や経営について教えているそうです。

青壮年会では、野山を歩こう会と写真クラブに所属しており、年数回県内のいろいろな山々を歩き、移動撮影会と称して秋田、福島などの山登りをしながら、風景やきれいな花が咲く野草と高山植物の写真を撮り、植物の名前調べを楽しむにしている。

趣味は青壮年会の部活動が主体のほか、プランターの花植えと英会話の勉強。1昨年の9月に学生を引率してアメリカに10日間の海外農業研修に出かけたのを契機として、英会話のCDを聞いたり、月1回アメリカ人講師の英会話

スクール(無料)に参加しているとのこと。健康の秘訣は仕事場である大学の農場内で学生と共に農作業や管理をしてエネルギーを消費していることが健康維持に役立っていると言っています。

これからの目標は、今のところ英会話の発音がうまく聞き取れず、込み入ったことを表現することができないレベルですが、最終的には外国人の話す英語がすんなり聞き取れ、緊張しないで色んな会話ができるようになりたい。近い将来英語圏を旅行すること、英会話の能力を評価するTOEICテストで、まず700点(90点満点中)をとることをめざしたいと話してくれました。(聞き手 土屋忠幸)

北区の人事

地域活動の先頭に立つ北公民館運営委員会の方々を御紹介いたします。(敬称略)

- 連合会長 渡辺渡貴雄
- 北一区長 桜井 和男
- 北二区長 鈴木 幸雄
- 北三区長 五十嵐俊一
- 連合会会長 土屋 正
- 青壮年会会長 森山 美典
- 消防団部長 佐藤 洋重
- 老人クラブ会長 岩月 忠幸
- 婦人会長(一) 桜井エチ子
- 婦人会長(二) 土屋津香子
- 子ども育成会長 佐藤 文江
- 交通安全協会 佐藤 伸一
- 体育指導員(一) 山崎 秀樹
- 体育指導員(二) 山崎 潤
- 北公民館長(一) 土屋 正賢
- 北公民館長(二) 土屋 貴子
- 北公民館長(三) 本間 和彦
- 北公民館長(四) 土屋 博明
- 北公民館長(五) 土屋 公男

がんばれ ニッポン みんなで支えあひましょ



コーヒータイム

▽編集委員をさせていたでいて今回初めて、あとがきを含め三つの記事を引き受けた。がんばるぞーと言ったものの、なかなかペンが進まない。今思えば素直に三つもできないようにうつつて言えれば良かったと後悔している。

とは言っても、引き受けた以上は何とかせねばとがき苦しみ頭ももん。結局一番最初に今の心境をあとがきとして書き、残りの記事に弾みをつけた。(土屋忠幸)

▽五月の第三日曜日、モンテディオ山形対ベガルタ仙台戦をNDソフトスタジアムに行き観戦した。

雨は上がったけれど寒さに震え、昼飯も食いそびれ、0対1で敗戦結果が更に追い打ちをかけ、疲れが倍増。上半身裸で片手を振り上げ「ディオ・ディオ」と大きな声を張り上げ、体を上下に動かしている熱いサポーターの思いが届かず残念。

(土屋博明)

編集委員
委員長：土屋博明・常任委員：秋保栄、山崎昭夫、土屋久雄・区選出委員：1区 後藤賢次、2区 土屋忠幸、3区(兼)土屋博明
部選出：リフト部 土屋忠治、将棋部 土屋正賢、麻雀部 山崎稔、書道部 佐藤俊彦、写真部 大木富雄、野山を歩こう会 佐藤春彦
走遊会 山崎進、パソコン部(兼)山崎昭夫

表紙題字 書道部長 佐藤幸峰(俊彦)書